その他の取引①

未収入金・未払金

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

①　未収入金・未払金の内容を理解しよう！

②　発生と消滅の仕訳をマスターしよう！

主な勘定科目

「未収入金」勘定（資産）

「未払金」勘定（負債）

（1）未収入金・未払金とは？

取引時には代金を受け取らず、後日、一定の日に代金を受け取る場合があります。この後日受け取る代金（権利）は、商品を売り上げた時は「売掛金（うりかけきん）」勘定（資産）で処理しますが、固定資産など商品以外の取引は「**未収入金**（みしゅうにゅうきん）（または、未収金）」勘定（**資産**）で処理します。

取引時には代金を支払わず、後日、一定の日に代金を支払う場合があります。この後日支払う代金（義務）は、商品を仕入れた時は「買掛金（かいかけきん）」勘定（負債）で処理しますが、固定資産など商品以外の取引は「**未払金**（みばらいきん）」勘定（**負債**）で処理します。

（2）会計処理

① 未収入金

例題 **土地1,000円を1,200円で売却し、代金は月末に受け取ることとした。**

後日代金を受け取る権利（資産）が生じ、商品の販売以外の取引であるため「未収入金」勘定（資産）の増加として処理します。

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
未 収 入 金	**1,200**	**土 地**	**1,000**
		固定資産売却益	**200**

例題 **月末になり、土地の売却代金1,200円を現金で受け取った。**

未収入金という資産が減少したので、「未収入金」勘定（資産）の減少として処理します。

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
現 金	**1,200**	**未 収 入 金**	**1,200**

② 未払金

例題 **消耗品1,000円を購入し、代金は月末払いとした。**

後日代金を支払う義務（負債）が生じ、商品の仕入以外の取引であるため「未払金」勘定（負債）の増加として処理します。

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
消耗品費	**1,000**	**未払金**	**1,000**

例題 **月末になり、消耗品の購入代金1,000円を現金で支払った。**

未払金という負債が減少したので、「未払金」勘定（負債）の減少として処理します。

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
未払金	**1,000**	**現金**	**1,000**

仮払金・仮受金

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

①　仮払金・仮受金の内容を理解しよう！

②　発生と消滅の仕訳をマスターしよう！

主な勘定科目

「仮払金」勘定（資産）

「仮受金」勘定（負債）

（１）仮払金・仮受金とは？

現金の支払や受取があったが、その内容がわからなかったり、金額や相手勘定科目が決まっていないことがあります。この場合、相手勘定科目や金額が決まるまで一時的に「**仮払金**（かりばらいきん）」勘定（**資産**）や「**仮受金**（かりうけきん）」勘定（**負債**）で処理しておきます。

そして、内容が判明したり、金額や相手勘定科目が確定したら、適切な勘定に振り替えます。

（２）会計処理

①　仮払金

例題　**従業員の出張にあたり、旅費交通費の概算額（がいさんがく）として1,000円を現金で渡した。**

まだ、旅費交通費の金額が確定していないので、一時的に「仮払金」勘定（資産）の増加として処理します。

借方科目	金額	貸方科目	金額
仮払金	**1,000**	**現金**	**1,000**

例題　**従業員が出張から戻り、概算額1,000円のうち、旅費交通費として800円を使用したとの報告を受け、残金200円は現金で受け取った。**

旅費交通費の金額が800円と確定したので、「仮払金」勘定（資産）を減少させるとともに、「旅費交通費」勘定（費用）の増加と現金勘定（資産）の増加として処理します。

借方科目	金額	貸方科目	金額
旅費交通費	**800**	**仮払金**	**1,000**
現金	**200**		

② 仮受金

例題　当座預金に1,000円の入金があったが、内容が不明であった。

内容が不明であるため、一時的に「仮受金」勘定（負債）の増加として処理します。

借方科目	金額	貸方科目	金額
当座預金	**1,000**	**仮受金**	**1,000**

例題　内容不明な入金額1,000円が、売掛金の決済額であることが判明した。

内容が判明したので、「仮受金」勘定（負債）を減少させるとともに、「売掛金」勘定（資産）の減少として処理します。

借方科目	金額	貸方科目	金額
仮受金	**1,000**	**売掛金**	**1,000**

立替金・預り金

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

①　立替金・預り金の内容を理解しよう！

②　発生と消滅の仕訳をマスターしよう！

主な勘定科目

「立替金」勘定（資産）

「預り金」勘定（負債）

（１）立替金とは？

従業員が支払うべき金額を会社が代わりに立て替えた場合など、金銭を一時的に立替払いする場合があります。これを**立替金**（たてかえきん）といいます。

（２）立替金の会計処理

立替えた金銭は、後日、返してもらう権利が生じますので、「**立替金**」勘定（**資産**）として処理します。なお、具体的な内容を示すために、「従業員立替金」勘定（資産）等を用いる場合もあります。

例題　**従業員が負担すべき支出1,000円を現金で立て替えた。**

「立替金」勘定（資産）の増加として処理します。

借方科目	金額	貸方科目	金額
立替金	**1,000**	**現金**	**1,000**

例題　**従業員に対する立替金1,000円の返金を現金で受けた。**

「立替金」勘定（資産）の減少として処理します。

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	**1,000**	**立替金**	**1,000**

（３）預り金とは？

従業員の給料に対して所得税（しょとくぜい）や社会保険料（しゃかいほけんりょう）が課せられますが、従業員に給料を支払う際に、その給料から所得税や社会保険料を天引き（これを源泉徴収（げんせんちょうしゅう）といいます）し、残額を従業員に支払います。天引きしたお金は従業員に代わって、後日、税務署（ぜいむしょ）などに支払います。これを**預り金**（あずかりきん）といいます。

（４）預り金の会計処理

預かった金銭は、後日、支払う義務が生じますので、「**預り金**」勘定（**負債**）として処理します。なお、具体的な内容を示すために、「従業員預り金」勘定（負債）や「所得税預り金」勘定（負債）、「社会保険料預り金」勘定（負債）等を用いる場合もあります。

例題　**給料10,000円のうち、所得税500円を差し引いた残額9,500円を現金で支払った。**

「預り金」勘定（負債）の増加として処理します。

借方科目	金額	貸方科目	金額
給料	**10,000**	**預り金**	**500**
		現金	**9,500**

例題　**税務署に所得税500円を現金で支払った。**

「預り金」勘定（負債）の減少として処理します。

借方科目	金額	貸方科目	金額
預り金	**500**	**現金**	**500**